

─いのち、くらし、平和が大事!─ 日本共産党京都市議会議員

VOL.48 2019年8月4日号

日本共産党 山科区生活相談所 山科区西野大手先 8-8

倉林明子参議院議員へ 2期目も引き続き みなさんの願い、届けてください!

「年金削減」問題や、「消費税増税ストッ プ」、「くらしに希望を!」をスローガンに、 財源指標も示した三つの提案の訴えが、み なさんに届いて、庶民の暮らしを守る議席、 託せる議席として、倉林明子、引き続き参 議院に押し上げていただけたと、実感して います!

倉林氏の国会議員としての6年 間の実績やその実力・人柄にも信 頼が広がりました。

低投票率であったものの、倉林氏の得票 は前回より2万7000票の上乗せとなり、 京都新聞の調査では無党派層の35%が倉 林支持で、最多でした。

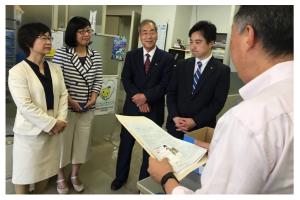
今回、倉林選挙事務所はジャーナリスト の守田敏也氏が事務局次長となって入られ



たほか、大学教授や市民活動家など、党外 の市民のみなさんと力を合わせて勝利した 選挙戦であったことも大きな特徴でした。

ご支援ありがとうございました!

当	西田昌司	自 民	421,731
当	倉林 明子	共 産	246,436
	増原ひろこ	立憲民主	232,354





産業交通水道委員のメンバーで 経済・商工・労働団体を訪問

日本共産党市会議員団産業交通水道委員 のメンバーで、京都市内の金融機関・経済 団体・商工団体・労働団体等の皆様、30 か所以上を訪問し、ご挨拶しました。

輸出をメインにしておられる工業団体以 外は、どこも、今の京都市の経済状況につ いては「厳しい」という認識で、先行きの 不安がうかがえました。

への努力をされ、少しでも規模を拡大しよ うと努力され、情報共有に課題をみつけて 努力され……、様々な企業努力を積み重ね て必死に生き残ろうとされているのに、国 は消費税の増税で追い打ちをかけるばかり です。ますます怒りがこみ上げました。

引き続き、市政課題に取り上げて頑張り ます!

人手不足をマッチングの問題として解決

いると叱

共働き家庭にとっては切実な問 とがあり、 てしまったけ から丸一日なので不安。 夏休み前日 れる。 ろいろなルールもある。 いはしていませんでした。 でに学童保育へは行っていません。 ただでさえ子どもが多い児童館、 学童保育があるおかげで長期休暇も安心 ……ところが、 「イヤー」と言われてましたが 夏休みは学童、 ……夏休み初日、 (期休暇の子どもの居場所は いく時期の小学三年生。 机に向かっているので、 のびのび遊ぶことが難しいなら、 「最後は三年生六人だけの貸し切やった かわるがわる何かがあって楽しい様子 もらった答えを丸写してた、なんてこ しょっぱなから怒 勉強、 息子は行動範囲がどんどん広が ちゃんと行ってね 学童へ一緒に行くお友達が朝 がぜん行く気になり 学童 早く終わらせるねん」 調子にのって 帰ってきたら 姉は小学五年生で、 「感心、感心」 長期休暇

の夏休みが始まっ



↑ 道路の端まではみ出している鉄板の部分。雨で濡れると滑りやすくなり、自転車で走行中に滑ってこけてしまった方もあるそうで、危険です。



↑ 歩道と車道の高低差(傾斜)がきつすぎて、「危なくて歩けない歩道」になってしまってます。



↑ 外環沿いの歩道の植栽。歩道の半分まで植え込み部分が仕切られていて、 つまづく障害に。大変歩きにくくなっています。



歩道・道路ウオッチングを実施しました! 改善を申し入れています!

まちのなかの危ない道路、気になる場所、どんどん 教えてください! 視察に伺います!



新聞切り抜き キラリ ニュース



「中学校給食をすべての子ども達に!」

(より豊かな学校給食を目指す京都連絡会主催)

学習会に参加しました

学習会ではまず中学校給食導入の報告と、未実施地域の課題や運動の報告がありました。

2019年1月から全員制の中学校給食が導入された向日市では、西ノ岡中学校に 給食センターを建設し、他の2中学校へ食缶配送する *兄弟方式。(中学校同士で 配送する。/ 小学校から中学校への配送は *親子方式。)を導入。その結果、献立 は小学校より1品増やすことが可能となったそうです。

「菓子パン1個だった父子家庭の生徒の昼食が、今では給食を食べられるようになった」「朝練で朝早くから弁当をつくる母親の負担が軽減したことが嬉しい」と、教師や子どもが感想を寄せていると言います。

全員制の導入を決めているが未実施である自治体も2市2町ありますが、全員制の導入すら決めていないのは京都市と亀岡市だけです。2018年度は京都市で中学校給食を食べている子どもは、3割を大きく下回り24.6%になっています。

全員制を導入したあとの学校の子どもや保護者の喜びの声・実態を示して、京都市でも早期に全員制の中学校給食を実現させたいと思います。そして高い給食費の無償化も国に求めていきます。



□ 『農民』4月22日付記事

毎日食べているパンからがんを誘発する残留農薬が検出されるというのは大問題ではないでしょうか? アメリカでは遺伝子組み換えの種子と強力な農薬使用を広めたモンサントという会社に対して、がんを患った国民が損害賠償請求し勝訴しています。

学校給食のパンでも輸入小麦を使用しており農薬が検出されるということです。中学校給食の交流会でも、自治体や国に対して国産小麦を使用するよう要望していこうという意見が出されました。